

事業報告書

日時	令和5年2月25日(土) 14:00~16:00
目的	発達障害は外見からは分かりにくいいため誤解されやすく、家族が地域から孤立、保護者が受け止めることができないなどの現状がある。また、発達障害という用語や大まかなイメージについては、一般に知られるようになってきたが、個々の発達障害の特性に対する理解や対応等については、あまり知られていない。今回の講座では、発達障害の特性に対する理解や対応について学び、親子や周囲とのコミュニケーションに役立てることを目的とする。
対象	発達が気になる子(未就学児童~小学校低学年)の保護者※小学校低学年以上の保護者もご参加可能です。保健師・保育士・幼稚園教員・子育て支援・幼児教育に関わっている方
主催	公益財団法人おきなわ女性財団
講師	コロロメソッド発達療育支援センター 代表 平良 博子 氏、センター長 葉袋 知子 氏
会場	ているる3階 研修室1・2
定員	30名(申込者数34名)
参加者	29名(女性27名、男性2名)
講演内容(概要)	<p>講座では、発達が気になる子の特徴とその原因について動画を使用しながら解説し、関わり方のコツ、将来を見据えて伝えたいことを講師からお話していただいた。講師は「子どもの成長は一秒もおろそかにできない。目の前にいる子どもをかわいいと見ているだけではなく、25歳になった時にどう過ごしているかという視点をもってほしい」と述べた。</p> <p>(講座内容の一部)</p> <p>・発達が気になる子の特徴とその原因について</p> <p>発達が気になる子の行動の特徴は、誰でも幼い頃はある特徴である。この特徴がいつまで経ってもずっと残っている、非に強い、いくつもある子どもは、発達が気になる子と捉えてほしい。</p> <p>脳は階層構造であり、3つの領域に分かれている。①からだの脳は生命維持・生きるための反射を司る。②ことばの脳は知性・理性・規範意識を司る。③こころの脳は情緒・感情・コミュニケーションを司り、暗黙の了解や空気を読むなど社会的な働きをする。上位脳である③こころの脳が動くと、下位脳である①からだの脳と②ことばの脳レベルの行動は抑制される。発達障害児の特徴は、②ことばの脳と③こころの脳の発達が進まない、もしくは進みにくい、異常に発達することである。パニックやかんしゃくは、脳の活動水準が下がっている時に起こるため、脳の活動水準が下がりやすいように育てていく必要がある。</p> <p>バイオリズムは体内時計であり、周期は25時間であるため、体内時計のタイミングを外界の24時間周期に合わせる必要がある。発達が気になる子は、新生児の未熟なバイオリズムに支配されやすく、同調作用が弱いので24時間に整っていかない。理想のバイオリズムに近づけるには生活リズムを整えることが大切である。決まった時間に食べる、入眠時間が一定になるようにする、日中しっかり頭と体を使うようにするのがカギである。</p> <p>原始反射はおなかの中にいるときからあり、刺激が入った時に無意識に動くことをいう。原始反射は、生命維持のためにはなくてはならない。月齢があがっていくと消えていき、だんだん自分の意志で動かせるようになる。発達が気になる子は、原始反射行動が残ってしまうことが多く、動画で身体に残存する原始反射の例について解説した。</p> <p>・将来を見据えて</p> <p>未就学児期にしっかり発達の土台をつくる、①からだの脳をつくって②ことばの脳を育てていくことが大切であり、早期対応が重要である。小学校は子どもが初めて社会を学ぶ場であり、社会生活を送る準備が整わないまま就学している子どもが増えている。社会生活を送る準備は、人と一緒に生きる力である社会化を育ていき、促進させることである。子どもを個別対応せず、王様にしない。自分の行動をコントロールすることはすぐに育たないため、保護者や周りの大人が自己調整のモデルになる必要がある。聞く力、静かにできる力、相手に合わせる力(ユアペース)、良いコミュニケーションができる力を育てるようになることで、学校生活の準備が整っていく。</p> <p>アメリカの心理学者サリバンによると、低学年時に本人の意志・興味関心と関わらずにやらなくてはいけないことがあり、それを社会的服従という。「服従」という言葉は良いイメージではないかもしれないが、人に合わせる時期がくるということである。社会的服従は自閉症や発達障害にも早い時期に教える必要がある、できることが増えてくると、適応行動の幅が広がり、マイペースからユアペース(相手のペース)になる。自己肯定感だけでなく、「ちょっと頑張ったらできた!」という自己効力感を育てることも大切である。</p> <p>★ 講座風景 ★</p>   
参加者の声	<p>(自由記載欄より抜粋)</p> <p>・脳の活動水準と行動とからだの脳、言葉の脳、こころの脳の図がとても分かりやすかったです。凹凸があり、子どもたちの困り感への理解も図ることができました。行動することで、子どもたちの活動水準が変化するのならやってみたいと思いました。</p> <p>・大変勉強になりました。ありがとうございます。子どもの成長は一秒もおろそかにできない、ただかわいいと見ているだけでなく、しっかりとみなければならぬと思いました。将来を見据えてのお話も、とても参考になりました。</p> <p>・大変有意義な講座でした。ありがとうございます。言葉の脳、身体の脳について、理解を深めることができました。発達成長の中で、いかにコミュニケーションが大切なのかより実感できました。財団、そして講師の方2名に感謝致します。</p> <p>・具体的な説明(動画)があり、理解しやすかったです。貴重な時間ありがとうございました。</p>